

競技上の注意

審判長：山田 健二

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 11点5ゲームスマッチでタイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会ゼッケンを着用する。

<アドバイザーについて>

- 1 1回戦目からベンチコーチを認めます。ただし1試合につきベンチコーチは1人までとし、一度抜けたら再度入りなおすことはできません。
- 2 ベンチコーチはニック登録をしている監督か選手のみとなります。

<進行について（別紙1）>

- 1 別紙1タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
(タイムテーブルはあくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 選手は必ず自分の選手番号を覚えておくこと。

<審判について>

- 1 第1試合の審判は別紙2に記載された番号の選手が行う。以降は、敗者審判による。

<県大会について>

- 1 男子は4回戦以降、女子は3回戦以降で敗退した選手は県大会の出場登録を行って下さい。
- 2 女子はスーパーシードの選手は県大会の出場が決定しています。ただし、スーパーシード選手が初戦を棄権した場合、県予選へ出場できません。

交流戦について

- 1 トーナメント敗退者の希望者を対象に交流戦を行います。対象者は放送に注意し、コールがありましたら指示された場所へ集合してください。

<県大会出場決定戦について>

- 1 男子本戦トーナメント3回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
(県大会出場決定戦における枠数 男子：32名)
(1) 3回戦で負けた際、決定戦進行席に申告し、本部へ結果を持参し審判を行う。
(2) 審判後に決定戦進行席へ行く。
(3) 1試合実施して64名の中から 32名の勝者を抽出する。